



# 津久見のセメント工場見学

# 大分の臨海工場群夜景など

日田市の大山ダム



大分市臨海工業地帯の夜景



津久見市の石灰石鉱山



観光活用が期待される  
主なインフラ施設

大分県はダムや工場群など県内にあるインフラ施設を使った観光促進に力を入れる。全国的には北九州市の工場夜景などが「インフラツーリズム」として人気を集めており、大分でも魅力的な資源の活用が課題だった。来春に県内で実施するJRグループの大型旅行キャンペーンでは、旅行会社に津久見市のセメント工場や大分市の臨海工場群の夜景などを使った旅行商品づくりを働きかける。

インフラを生かした観光を設け、各地の施設を紹介。には工場夜景のほか、埼玉 大分県内は日田市の松原ダム、下釜ダムでのクルージングなどを取り上げている。日田市の大山ダムは人気漫画と連動した売り込み

# インフラ観光を促進 来年のDCへ県、活用策探る

で観光客が地域を循環する仕組みづくりが進む。

一方で、県内の多くが個々の施設での受け入れにとどまる。回遊ルートができず、地域経済への波及が弱いという。

JRグループが来春4～6月に大分、福岡両県で展開する「デスティネーションキャンペーン(DC)」では、旅行会社が県内各地を巡るツアーを企画する。

津久見市は「産業観光コンテンツ」として地元の石灰石鉱山の見学を、大分市は臨海工場群の夜景を楽しむクルーズをそれぞれ売り込んでいる。

大分県はDCでの実績も踏まえ、観光資源としての活用策を探る。渡辺修武観光局長は「インフラツーリズムは社会見学などが必要がある。教育目的に限らない。自然や食といった周辺地域の魅力的な素材と組み合わせて活用の拡大を図る」と述べた。

25日の県議会で木付親次氏(自民)の一般質問に答えた。

(江藤嘉寿)

〔問①〕 「インフラツーリズム」とは何ですか。

〔問②〕 全国的に人気の北九州市と埼玉県春日部市のものはそれぞれ何ですか。

〔問③〕 全国でほかに注目・人気のインフラ施設を調べよう。

〔問④〕 県内の売り出せる施設を調べ、その売り出し方を考えよう